

## 1. 本校の教育理念



### 「周りとともに強く生きる力の育成」

～自ら律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心など、

豊かな人間性とたくましく生きるための健康と体力の育成～

#### 《 具体目標 ～目指す子供の像～ 》

- ・心身とも強くたくましい子
- ・自ら考え、自ら判断できる子
- ・努力し頑張り続けられる子
- ・周りの人に感謝と思いやりの心を持てる子
- ・社会の一員として義務と責任を果たせる子
- ・元気なあいさつができる子

## 2. 本校の教育

### 教育の2本柱

- 『**道徳やしつけなど人格形成に重きを置いた教育** — いつ・どこで・どんな状況でも、(周りの人と協調しながら) あきらめずに困難を乗り越えられる人間を育てる』
  - ・人としての土台作りを行う人生で一番感受性の強い青少年期に、様々な経験を通して指導し、将来、社会の中で多くの人とともに生きていく上で、必要なこと・力になる事を身につける。
- 『**日本語や日本文化を教える教育** — 日本語能力をつける』
  - ・知識偏重にならず、多少の間違えがあってもしっかり自己表現ができ相手に伝えられる。
  - ・日本語能力試験 N2 又は N1 を合格すると、今後、日本への研修や留学が、非常に有利になる。

### 3. 本校の教育方針

◎「日本文化だから」ではなく、「子供達がこれから成長していく過程で、また大人になってから必要なことであり、きっと本人のためになること」を考えた教育を行う。

◎様々な経験をさせることにより、

- ・人の持つ様々な可能性を引き出し、広げ、伸ばす。
- ・多くの思い出を生み出し、心を豊かにし、それにより日々の生活が生き生きしたものになり、また将来においても励みや力になる。



◎勉強の真の目的を「よく覚えていい成績をあげる」でなく「よく考えること」と考え、

結果ではなく過程を重視する。（今後の人生や仕事においては、言われた事をただこなすだけでなく、状況に応じて自分で判断し創造する力が重要となってくる）

◎失敗や辛いことをも体験することにより、たくましく粘り強い心を持たせる。

◎あきらめずに努力し続けることの重要性を気付かせる

◎日本からの教師や訪問者との交流を通じ、日本を知るとともに世界を意識し、

多様な考え方・価値観を 持たせ国際感覚を育む。

◎地区行事に積極的に参加し、他市・他校の生徒と交流を深めることにより、世界を広げる。

◎室内にこもることなく外で元気に活動することにより、強い体と健全な心を持った元気な子供を育てる。

◎電子機器やインターネットなどの普及による急速な時代の変化に伴う「人とのコミュニケーションの形態の変化」「個人主義」「協調性や想像力・思考力の低下」に流されることなく、積極的に人とコミュニケーションを図り、仲間・グループの存在の喜びを感じさせ、その環境におくことで想像力や思考力・感性を磨き、周りの人に対する思いやる力をつける。



### 4. 本校の経営方針

◎本校はピラール・ド・スール文化体育協会（文協）が運営する学校であり、その教育活動全般は会の方針にのっとる。そして時代の変化を考慮しつつも、これを尊重し継承していくことを前提として、保護者で構成される父兄会・母の会が実務的な運営と経営を行う。

◎日本語学校教師と保護者、文協は、日本語学校の教育理念・方針を深く理解し、本校の教育に取り組む一員としての自覚を持ち、連携を密にし協力して学校環境の整備・充実に努める。

◎日本語学校教師と保護者、文協は、これまでの学校関係者の先輩方に敬意と感謝の気持ちを持ち、本校に通う全児童・全生徒のために、また本校の安定的な経営・存続・発展のために、利己的になることなく協調して活動する。

◎週末行事や地区行事、部活動も重要な教育活動として捉えており、積極的に参加するように（行事によっては義務のものもある）教師と保護者は児童・生徒に働きかけ、その活動が円滑に行われるように父兄会・母の会が全面的に支援・協力する。